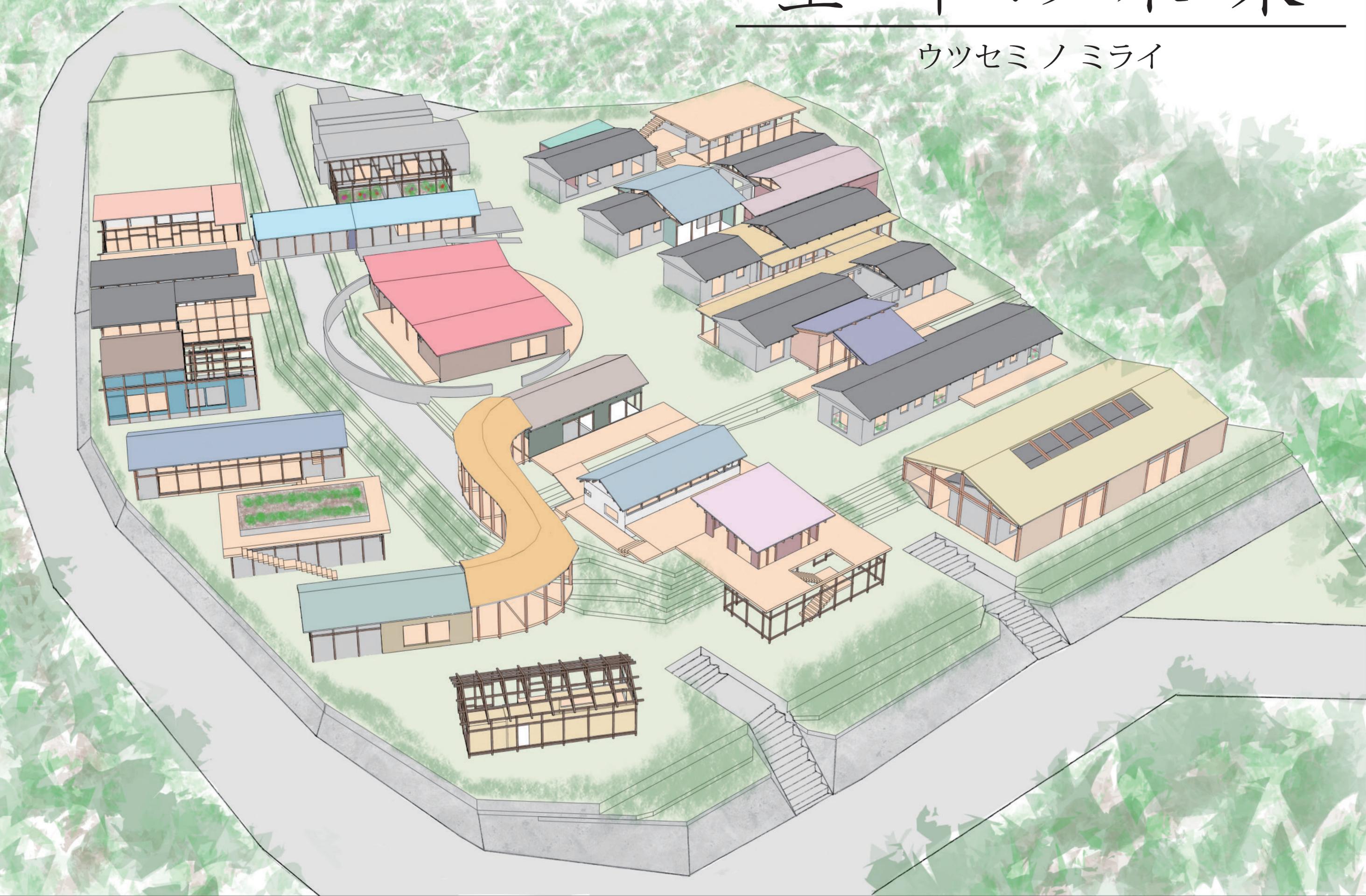


空 蟬 の 未 来

ウツセミノミライ



背景

近年、戦後に建設された団地が寿命をむかえつつある。それに加え、団地の高齢化が進み、廃墟となる団地が増えている。そんな現状にある団地に対して、廃墟となった団地の**その後の**可能性を探りたい。

団地が持つ豊かな人々との関係性が継承される、街に開かれた地域の多世代の交流拠点として団地を再構築する。

そして、これからも増えていくと考えられる使われなくなった団地の未来として、既存建築を活用した新しい団地空間を提案する。



横須賀市による今後の団地について

(配置図)



https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4821/kikaku/documents/boshuuyoukou_tsukimidai.pdf

横須賀市では、団地の跡地を有効活用して、谷戸地域再生、コミュニティ活性化を図るための事業実施に向けて検討し、既存建物のリノベーションや、一部を解体し空地（広場）をつくるなど、新たな利活用が見込める土地であることが分かったため、地域のコミュニティ活性化を目的に、当該地を活用して、当該地の整備及び運営を行う事業者候補を選定するための公募型プロポーザルを行うこととした。

その際、既存建築を一部解体することが決定した。

このことを踏まえて今回設計をはじめ。

敷地

神奈川県横須賀市田浦町にある**月見台団地**を対象敷地とする。

周辺は谷戸に囲まれ、この団地は丘の上にある。敷地からは海が見え、見晴らしの良い自然豊かなところである。

1960年に住宅需要の増加に伴い市が整備した市営住宅が、老朽化と入居者の減少により2022年をもって廃止、**廃墟**となった。

この使われなくなった**団地の新しいかたちを提案する。**

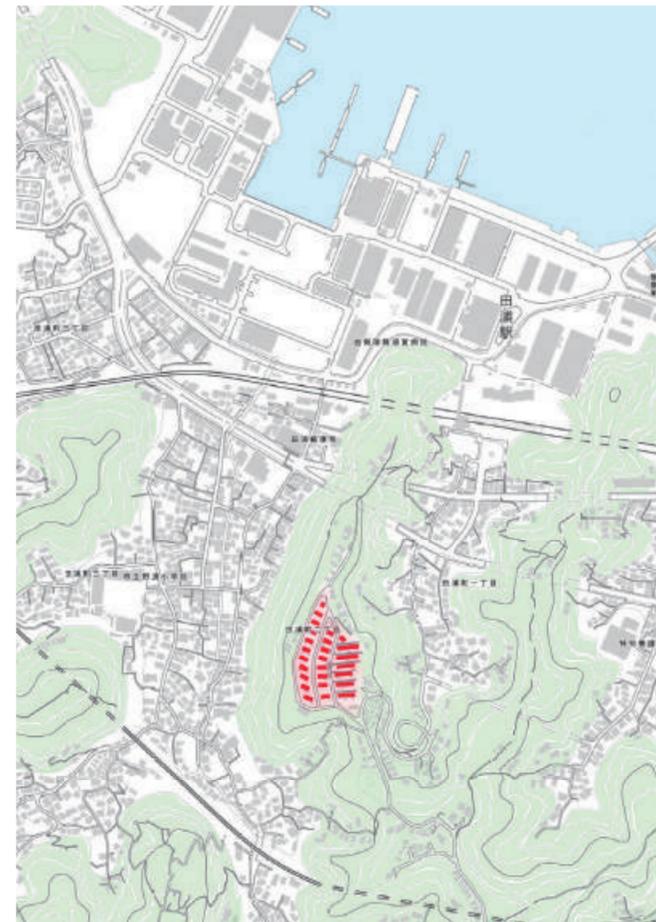
敷地内に足を踏み入れると、まるで異空間にきたような不思議な空気感が漂っている場所である。ある一つの街を歩いている感覚、そして**同じ建築が規則正しく並んだ風景は、団地特有の風景**であると感じた。また、丘の上にあるため空が広く、周りの音が一切聞こえない、静かで、風や鳥の音が聞こえる自然を体いっばいに感じる空間。

多様な人、多様な出来事を受け入れる団地空間

団地の特性として、外に出ると知っている人がいて、挨拶や軽い立ち話をしたり、団地内でお祭りや季節のイベントが開かれたり、地域の人が入ってきて一緒に遊んだり活動したりする風景がよくみられる。

団地内の人たちの関係性は、**他人以上家族未満**というかなり近い関係がつけられる。また、団地外の人も気軽に入ることができる**寛容さ**がある。

地域と団地、住戸同士、団地の人と地域の人とがシームレスに繋がる場、それが団地の魅力である。



団地を複合施設に転用する

月見台団地から徒歩10分ほどにある「横須賀基督教社会館」の移転を計画する。この施設には、**認定子ども園、高齢者デイサービス、障害者デイサービス、学童保育、総合相談所**が入っており、様々な世代の人たちが利用する。

移転する際に、**チャレンジショップ**や**直売所**や**フリースペース**といった新たに用途を加える。それにより、地域の人たちも気軽に来れるような複合施設を計画する。団地に移転することで、自然に囲まれた場所で子どもたちがおもいっきり遊ぶ、多世代の交流が盛んに行われることを目指す。



団地に残された建築たち

団地の風景は、**既存建築によって**つくられている。既存建築は、地域の風景や暮らしを形成してきた**文化的価値**をもっており、それを壊すことは、団地のもつ魅力をなくしてしまうことになる。また、団地内に**木造**と**CB造**という2種類の既存建築があり、それらが平行配置されているかたちが団地を構成する要素としてあり、**存在価値**がある。

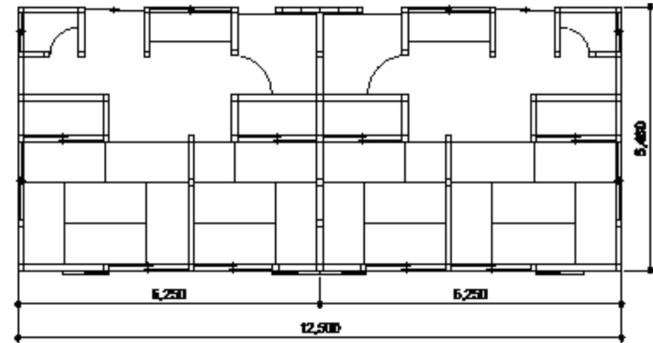
その既存建築を**建築的な資源**として生かした設計を行う。



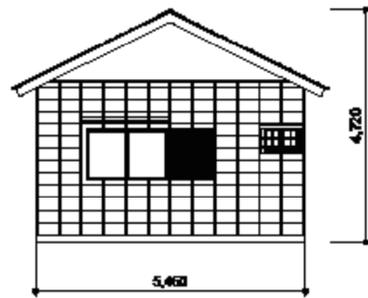
木造



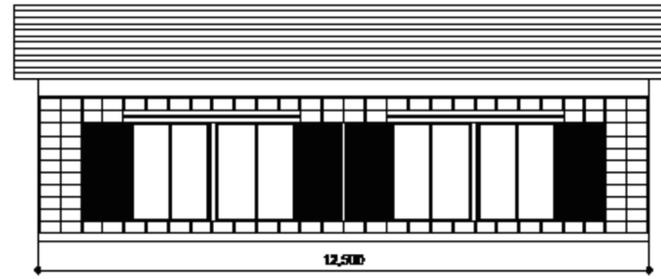
木造軸組みでできている。
 軸組みを現しとすることで、内部が外部になったり、既存の開口と異なる開口をつることができる。
 壁をなくすと開放的になり周りの様子が可視化される。
 壁をつくと既存の住戸のような安心感のある室内となる。
 自由度が高い木造軸組みを用いて、様々な手法で多様な居場所をつくる。



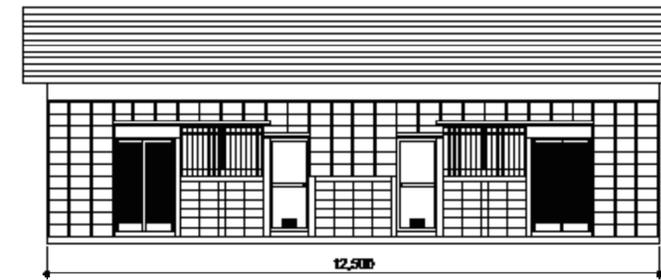
▲平面図



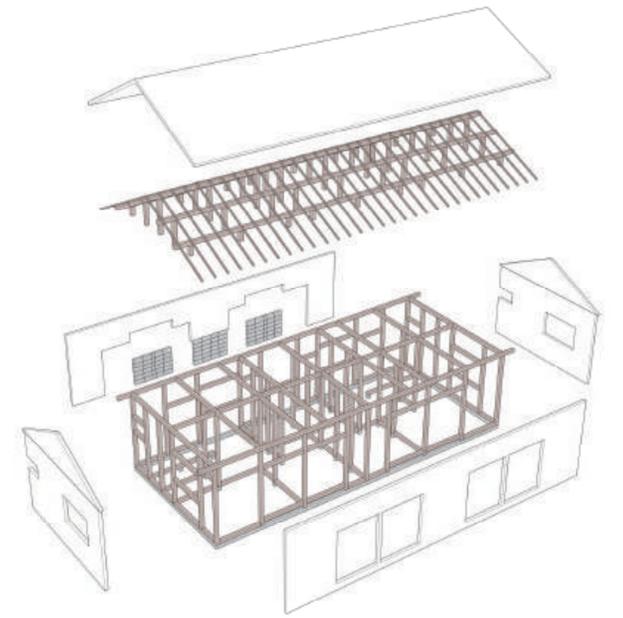
▲短辺立面図



▲長辺立面図（表）



▲長辺立面図（裏）

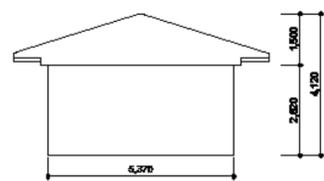


▲アクソメ図

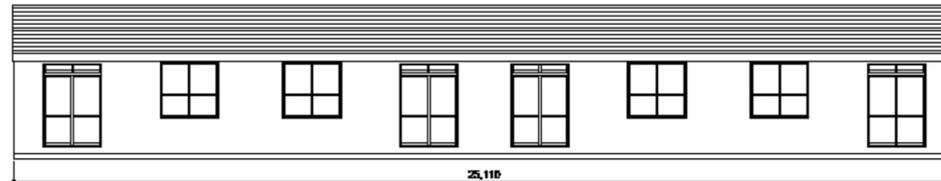
CB造



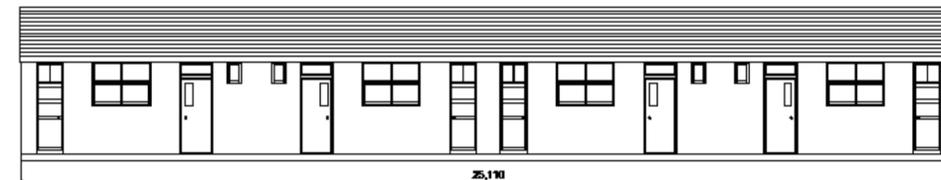
構造は壁がコンクリートブロック造、屋根架構は木造でできている。
 コンクリートブロック壁は、開口の開いていないところがすべて耐震壁となっている。また、界壁や上部の臥梁により構造を保っている。
 そのため、開口の開いていない壁の部分や、界壁は壊すことが難しい。
 開口を新しくつくることは難しいため、既存の開口を用い、壁を利用して多様な場所をつくる。



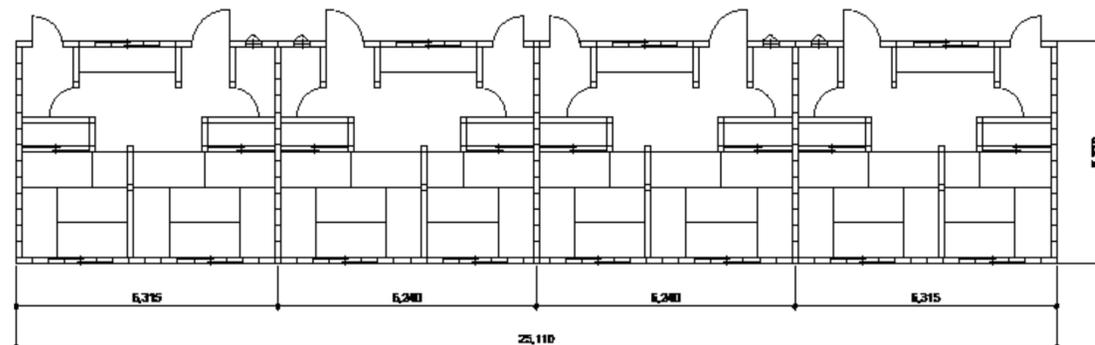
▲短辺立面図



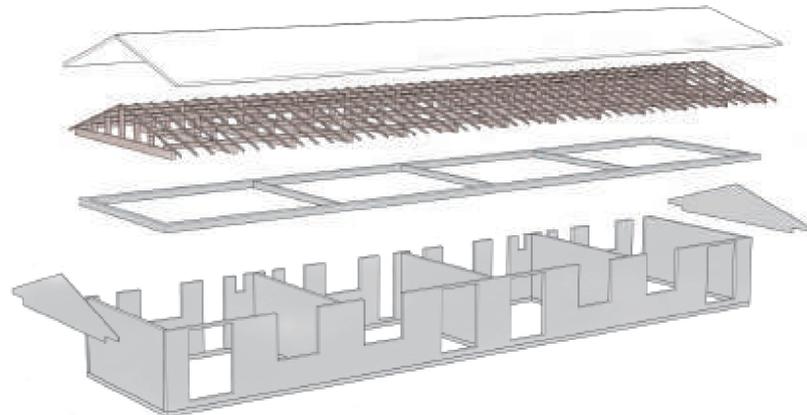
▲長辺立面図（表）



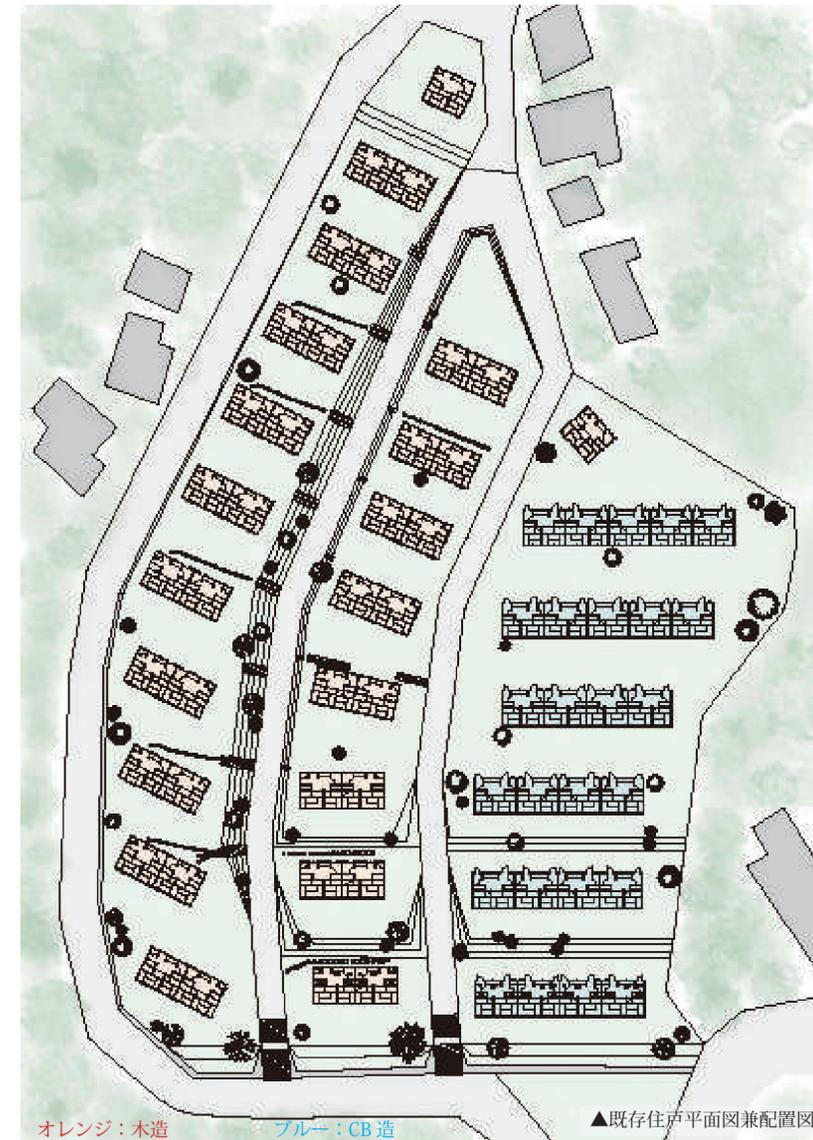
▲長辺立面図（裏）



▲平面図



▲アクソメ図

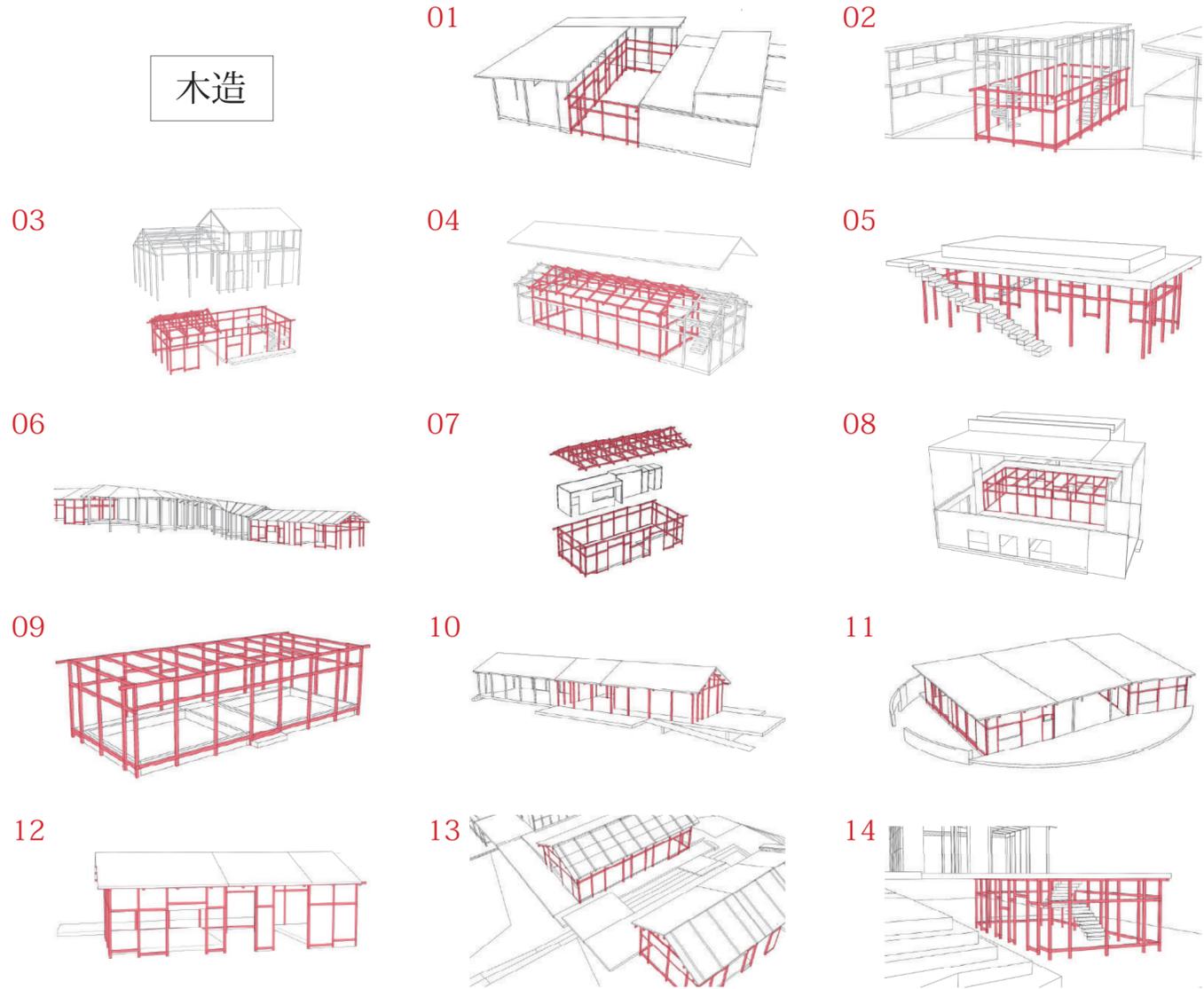


オレンジ：木造

ブルー：CB造

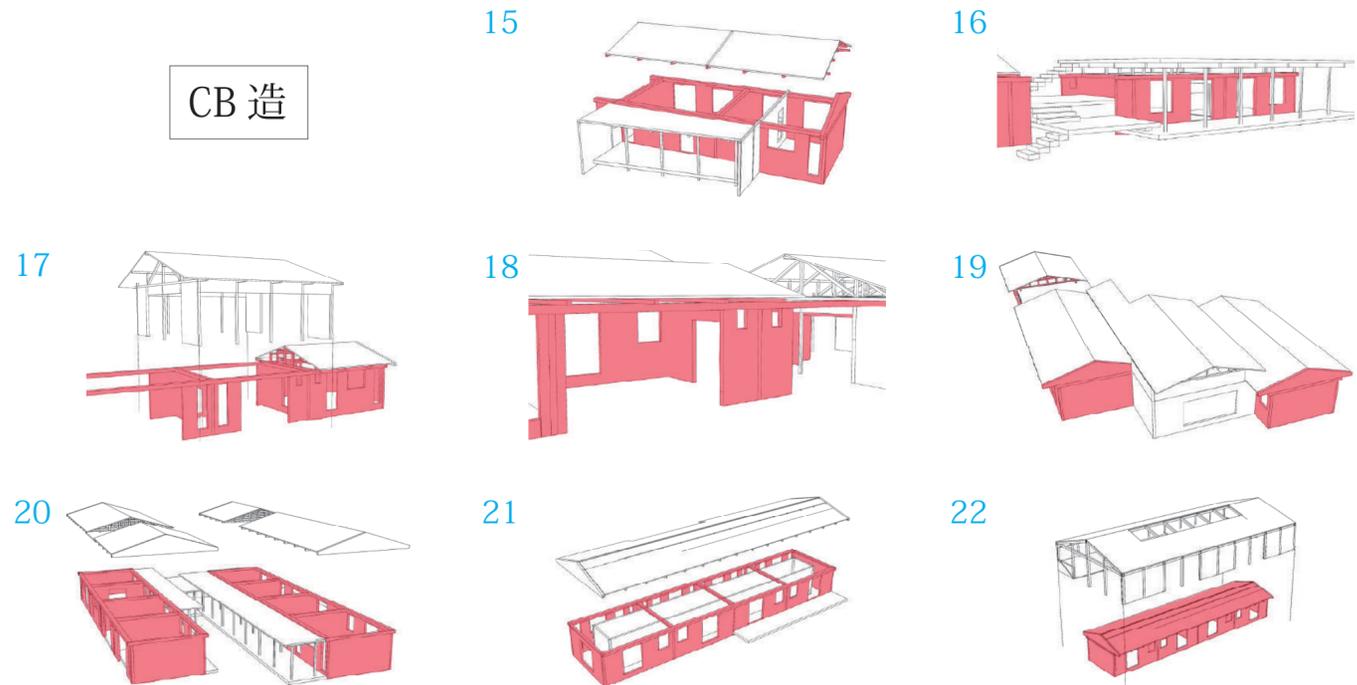
▲既存住戸平面図兼配置図

木造



木造とCB造それぞれの特徴を生かして21棟の既存建築を住戸ごと異なる操作をし、多様な居場所をつくる

CB造



団地内にバラバラに用途を配置することにより、街を歩くように団地内を移動すると、異なる世代が活動する場に出くわし、団地内で多世代の人たちが関わり、普段関わる人がない人たちとつながることができるよう住戸同士の関係性を考えながら操作を行う。

01～14：木造 15～22：CB造



屋根裏のような2階部分は、座ると体にフィットするような場所があり、心地の良い空間となっている。

コンクリートという硬いイメージの外壁の中で、木造の軸組みが柔らかく優しく仕切る様子は、子供たちが安心して守られながらも、穏やかに温かい内部空間で遊ぶことができる。

室内は天井高を高くしたことで開放的で、壁と天井の間から外から光が差し込み、明るい空間となる。閉鎖的なCB壁と上部を開けた軽やかな木造屋根の対比が感じられる。また、屋上テラスからは、海が見え、敷地内一の絶景を望むことができる。

▲設計後2階平面図

元々1棟を支えていた軸組みが3棟を支える新たな軸組みとなり、それによってできた中庭は、懐かしさと安心感に包まれ、各棟で活動する人々を結ぶ場所となる。

1階分だった既存建築が2階分の吹き抜けとなり、1階と2階を繋ぐ役割となる。また、壁をなくし軸組みを現しとすることで、開放感ある内部となる。

円形のテラスは、元気いっばいに子供たちが走り回り、すべての方向から人々の利用をうながす。コンクリートブロックの塀は街中でよくみられるように、街のような雰囲気をつくり出す。

2棟の既存の間に内部空間をつかったことで、その間の部屋にある既存の壁は、元々外壁だったところが内壁になっているため、まるで外部かのような内部をつくり出す。

高低差に合わせてだんだんと高さが変わる床は、階段や椅子や部屋など利用者が各々好きな使い方をする。

元々つながりなかった2棟がテラスによって1つの建築となり、子どもたちが自由に2棟を行き来する。

ポリカーボネートによって、外から内部の様子や軸組みがうっすら見える。内部は全方位から柔らかな光が入り、室内を明るく照らす。

ボックス内が内部となり、ボックスの壁と既存CB造の壁の間は、坪庭となり、落ち着いた空間となる。

▲設計後平面図

既存CB造が大空間の中の部屋となり本が並ぶ。そのまわりは、外部のような内部空間となり、利用者が好きなところで本を読むためのスペースとなる。

既存建築を一部壊したり、手を加えたりしながら、**既存建築のかたちを継承しつつ新しいかたちを取り入れる。**

1棟1棟異なる操作をしているが、基本的な配置やかたちは変えないことで、**団地内にまとまりを出す。**

棟ごとに用途を与え、**用途により手法を決定する。**

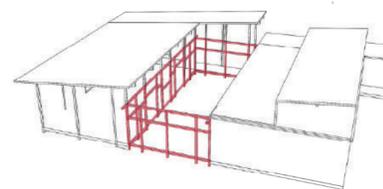
既存建築を利用して新たに設計を行うことで、団地が使われていた頃とコンバージョン後の空間の**内外が反転**していたりして、様々な使われ方へと変化し、空間に豊かさをもたらす。

また、**古いものと新しいものが共存**していくことで、どこか懐かしさや落ち着く居心地の良さを感じることができる。

※図の赤い部分は既存を示す

01～14：木造 15～22：CB造

01 中庭



内部空間だった部分を中庭にする

02 フリースペース



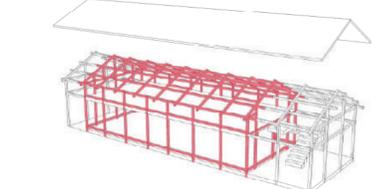
既存建築部分を吹き抜けにする

03 デイサービス



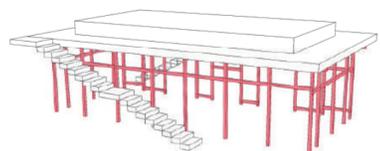
半分を既存の軸組み現し、もう半分を2階建てにする

04 直売所、カフェスペース



既存建築に2階床をつくる

05 菜園、屋外調理スペース



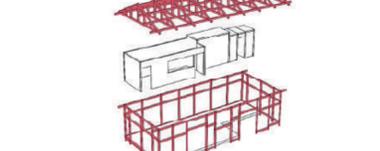
屋上に菜園をつくる

06 屋内通路



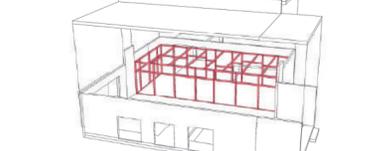
2棟を新築でつなげる

07 チャレンジショップ



既存建築にボックスを挿入する

08 学童保育



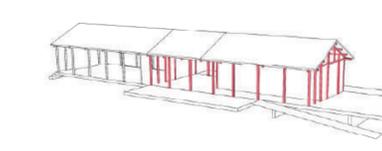
既存の軸組みをコンクリート外壁で覆う

09 花壇



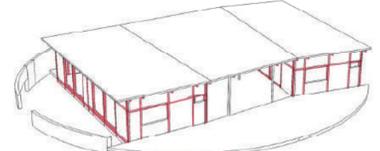
既存建築を花壇とする

10 デイサービス、工房



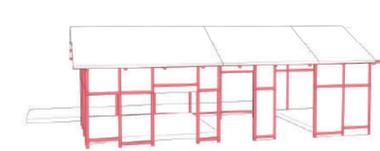
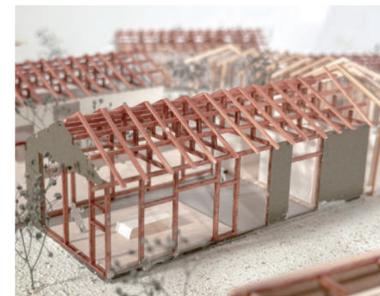
人口地盤の上に、拡張した既存建築が建つ

11 認定こども園の遊戯室、調理室、保健室



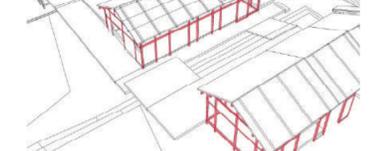
2棟を1つの大屋根でつなげる

12 土間、畳空間



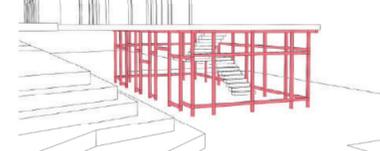
既存建築の一部内部に土間をつくる

13 トレーニングルーム



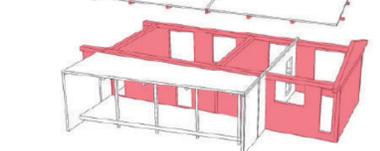
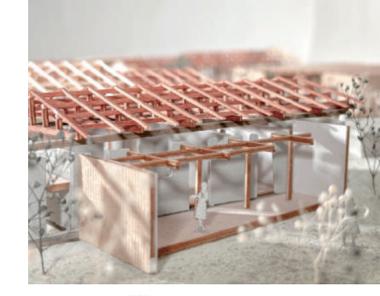
既存建築をテラスでつなぎ囲う

14 フリースペース



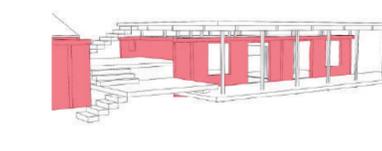
既存の軸組みをテラス下の架構として用いる

15 学童保育



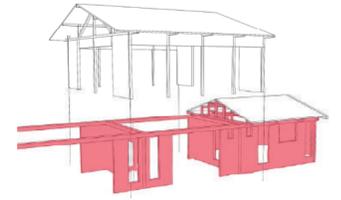
既存建築に新しく壁を挿入する

16 チャレンジショップ



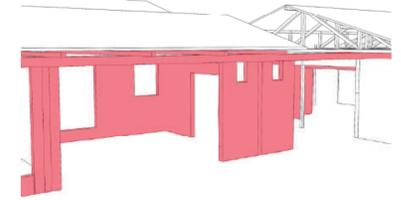
屋上テラスをつくる

17 デイサービス



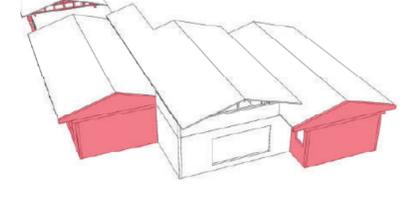
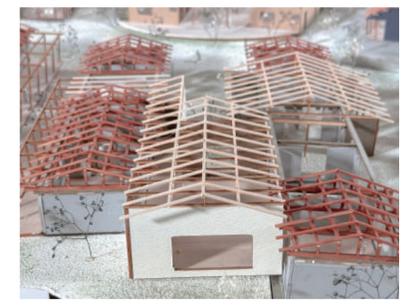
既存CB造と異なるボリュームをつくる

18 路地空間



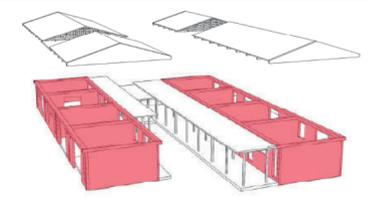
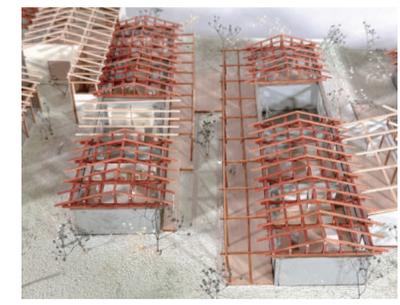
既存CB造の内部を路地のような道にする

19 認定こども園



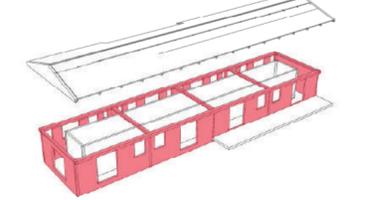
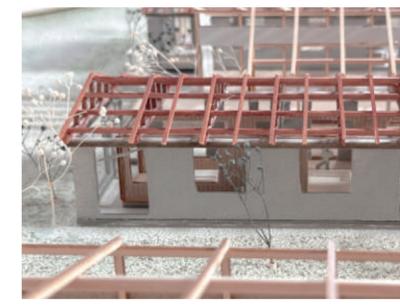
2棟を内部空間でつなげる

20 認定こども園



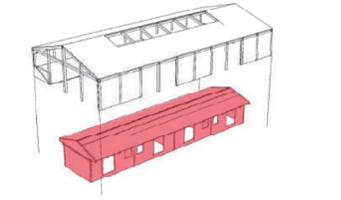
2棟をテラスでつなげる

21 静養室



既存内部にボックスを挿入する

22 図書室



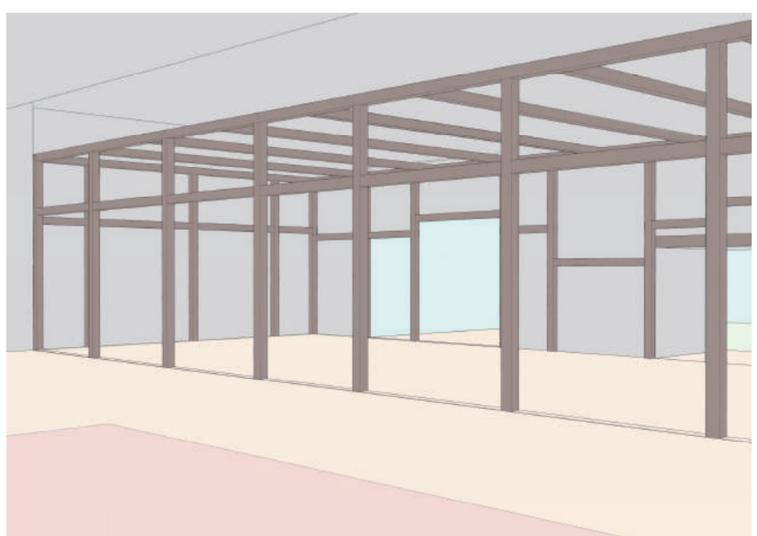
既存CB造を丸々1棟新しい建築で囲う



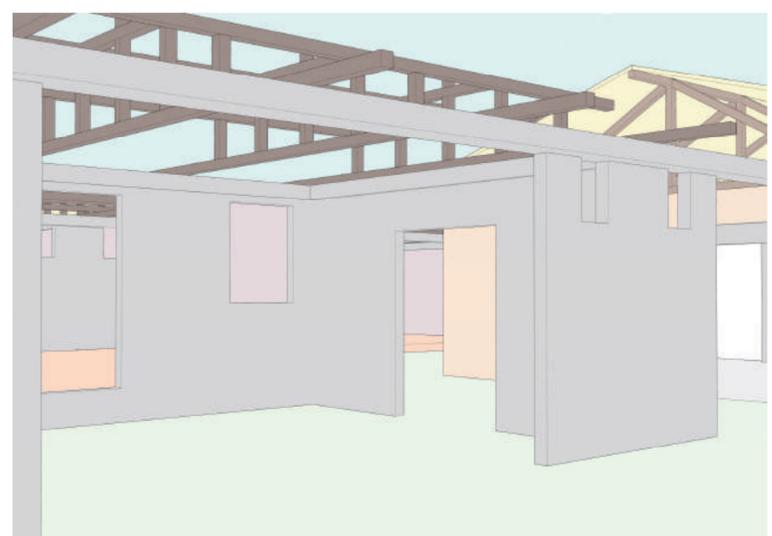
02 吹き抜け



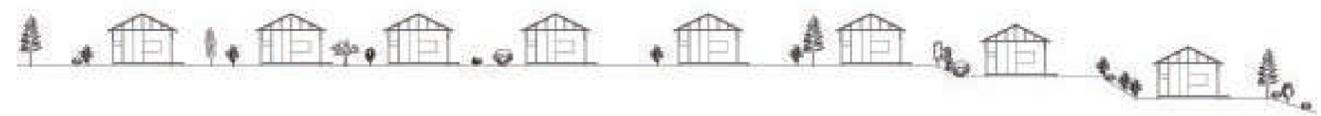
06 屋内通路



08 学童保育



18 路地空間



▲既存木造断面図



▲設計後木造断面図



▲既存CB造断面図



▲設計後CB造断面図

